

薬物依存症フォーラム

日時：平成27年8月7日（金）午後1時30分～4時00分

場所：栃木県精神保健福祉センター 講堂

宇都宮市下岡本町 2145-13（JR 岡本駅下車徒歩15分、岡本台病院と保健環境センターの間）

- ・ダルクメッセージ 特定非営利活動法人栃木 DARC 理事長 栗坪 千明 氏
- ・当事者の体験談

- ・講演：『薬物問題を抱える若者の理解と支援：危険ドラッグから処方薬乱用まで』

講師：国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所
薬物依存研究部 心理社会研究室長 嶋根 卓也 氏

お申し込みは、栃木県精神保健福祉センターへ 定員：150名 参加無料

TEL：028-673-8785 FAX：028-673-6530

【後援（予定）】

宇都宮市・宇都宮市教育委員会・栃木県医師会・栃木県看護協会・栃木県教育委員会・栃木県社会福祉協議会・栃木県精神衛生協会・栃木県精神保健福祉士会・栃木県PTA連合会・栃木県保護司会連合会・栃木県薬剤師会・栃木県臨床心理士会・日本精神科看護技術協会栃木県支部

○昨年、危険ドラッグ乱用に伴う事故等が大きく報道され、その危険性や法規制の不備が特にクローズアップされました。その後、危険ドラッグに関しては、法規制がなされたことにより、一見すると薬物問題が沈静化したかのように見えます。

しかし、薬物の問題は、取り締まりを強化するだけで解決するわけではありません。薬物はダメである、危険である、そのことを分かったうえで使わざるを得ないところにも問題があります。

薬物依存症フォーラムは、このような薬物問題を正しく理解することを目的に実施しています。今回講演いただく嶋根先生は、若者が集まるクラブ等様々なフィールドにおいて薬物問題を調査・研究してこられ、“薬物問題の今”に精通している先生です。

ぜひ、この機会に当フォーラムに参加頂き、薬物問題について考える機会としてはいかがでしょうか？